

TLIFESを活用した安否確認 システムの提案

名城大学 理工学部 情報工学科

渡邊研究室 B4

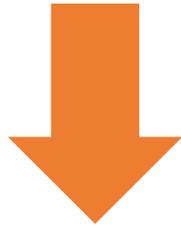
130441054 倉橋卓也

輪講資料

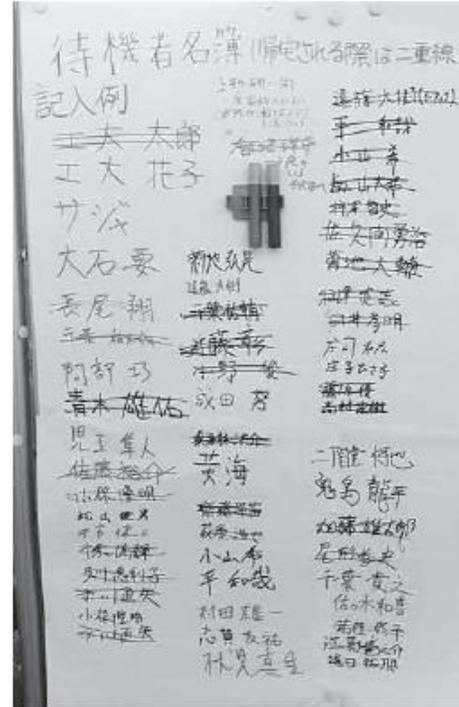
- TLIFESを利用した安否確認システムの提案
 - 名城大学工学部情報工学科
金沢晃宏、旭健作、鈴木秀和、川澄未来子、渡邊晃
- 東日本大震災・安否確認システムの展開とその課題～今後の議論に向けて～
 - 村上圭子
- 被災者情報登録検索システム(IAAシステム)の研究開発と災害への適用について
 - 海老名毅、松本文子、大野浩之

研究背景、目的

災害発生による被害が多くなっている
安否確認のニーズが増加
災害時に電話網に通信規制がかかる



安否情報を素早く行える
身近にあるスマートフォンを活用
容易な操作で連絡できる



既存技術

- 災害伝言ダイヤル（NTTコミュニケーション）
 - 災害時に音声を録音し相手は再生して聞くことができる
 - 被災地でしか録音できない
- パーソンファインダー（グーグル）
 - インターネットを利用した安否確認システム
 - 姓・名で検索をするため同姓同名の場合交錯する

既存技術

- ココいるネット

- 事前に家族グループを作成し安否確認を行う
- インターネット利用のため繋がりやすい
- GPSを利用し位置情報を登録することができる
- 登録時にGPSを利用するためGPSが利用できない場所では使用できない

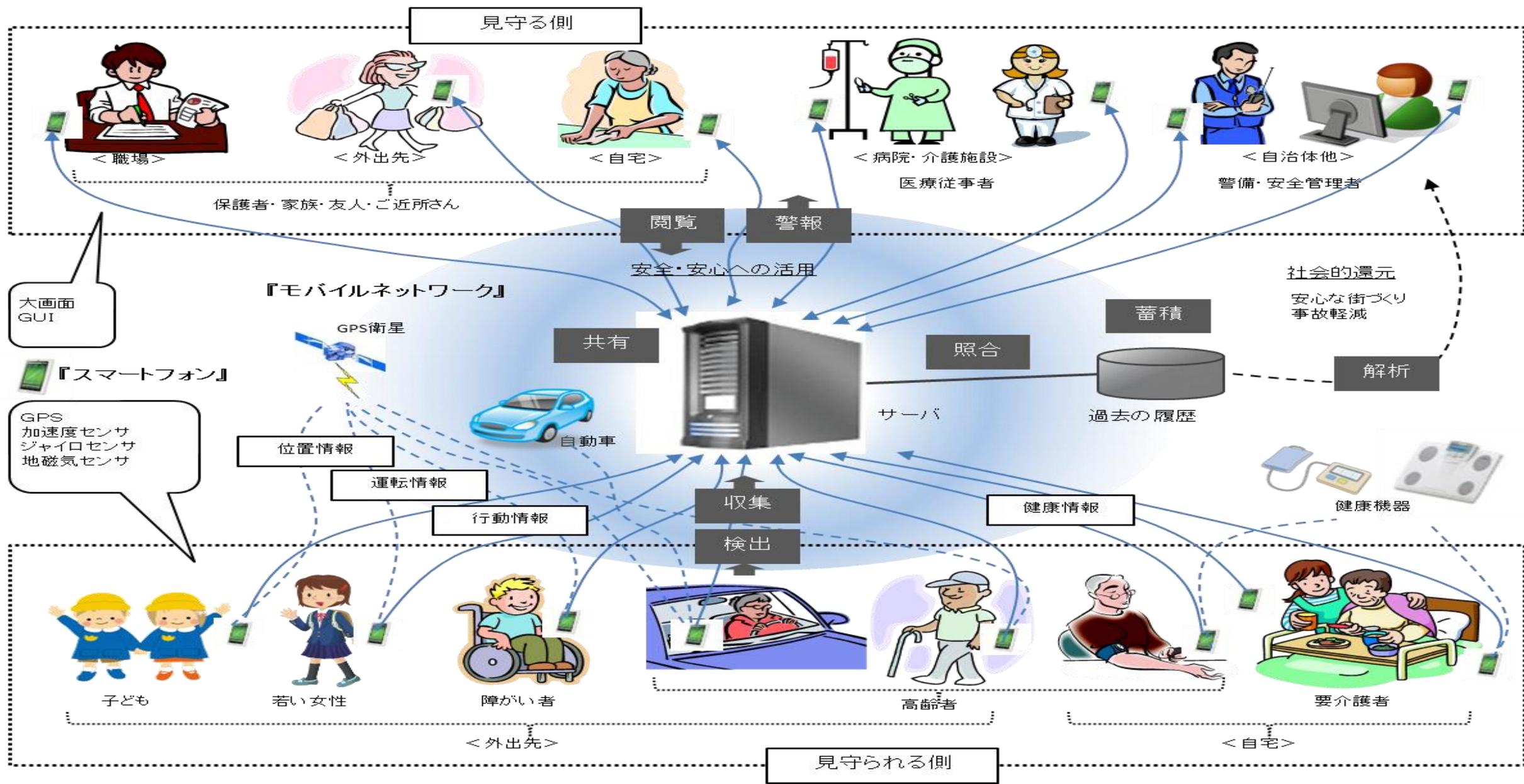
- ココダヨ

- 地震情報とユーザ情報一覧がみられる
- インターネット利用のため繋がりやすい
- 30分ごとに位置情報を取得しているがインターバルが長い
- 相手のメールアドレスを知らないと利用できない

TLIFESの概要

- スマートフォンの通信機能とセンサ機能を利用
- 取得したデータをTLIFESサーバに定期的送信
- 情報は許可されているメンバーはいつでも見ることができる
- 2分単位で情報を送信している
- 過去の情報も閲覧可能

TLIFESの構成



提案方式

- 災害時に事前に登録してあるグループに災害掲示板を作成する
- 自治体またはグループのメンバーが掲示板を起動する
- メンバーの場合位置情報の公開の可否ができる
- 安否確認・チャット・メンバーの位置情報を閲覧できる

提案方式の処理の流れ



提案方式のレイアウト

ホーム画面



安否入力画面



提案方式のレイアウト

安否閲覧

ホーム	安否入力	安否閲覧	掲示板	災害情報
-----	------	------	-----	------

Map showing locations of family members: 自分 (green), 母 (red), and 兄 (blue).

	自分	3 分前	避難完了
	母	1 分前	避難中
	兄	未入力	

掲示板

ホーム	安否入力	安否閲覧	掲示板	災害情報
-----	------	------	-----	------

母: 大丈夫?

避難した

送信

評価結果

	即時性	操作性	プライバシー	事前準備	対象
災害伝言ダイヤル	×	△	△	○	○
災害用伝言板	×	△	△	○	○
パーソンファインダー	×	△	×	○	○
ココいるネット	×	△	○	△	△
ココダヨ	△	△	○	△	△
提案方式	○	○	○	△	△

家族向きの安否確認システムとして有用

まとめと課題

- TLIFESを利用した安否確認システムを提案
- 家族向けの安否確認システムとして適している
- 実装が課題